

科目紹介

PT 理学療法専攻 OT 作業療法専攻

解剖学実習

PT OT

理学療法・作業療法における検査・測定および治療に必要な触診を行うため、骨、関節、靭帯、筋、腱、神経、血管等の身体組織の名称、筋の走行などの基本的な体表解剖学の確認を行うとともに、各部位ごとに触診する技術を身につけます。



運動学

PT OT

正常な人間の動きを理解することは、臨床現場で正確な運動・動作分析を行うために不可欠です。姿勢や歩行などの基本動作や運動の観察と分析を通して知識を深めます。



小児科学

PT OT

小児疾患の原因・病態と、小児の受胎から思春期に至る身体、言語、精神の成長発達段階を学び、小児の特徴及び疾患について理解します。理学療法士・作業療法士として小児のリハビリテーションに応用して実践できるよう目指していきます。



基礎理学療法評価学実習

PT

検査・測定の目的と意義を理解し、正確に迅速に、かつ安全に実施できるように、信頼性のある技術を修得します。実践の中で患者との信頼関係の構築に必要な言葉遣いや、解剖、運動、生理学について説明できる能力を養います。



神経障害理学療法評価学実習

PT

神経疾患の病態を把握するための検査手技や神経障害に必要な理学療法の検査・測定をするための基本的な技術を修得します。神経障害の諸症候について理学療法的視点で分析し、各症例の臨床推進能力と問題解決能力を身につけます。



骨関節障害理学療法学

PT

骨折や靭帯損傷など運動器疾患における治療の目的や、関節可動域練習、筋力増強運動など基本的な理学療法を学びます。



疾患別作業療法評価学実習Ⅰ

OT

各領域および各種疾患特有の評価に必要な知識と技術を修得します。実習を通して中枢神経疾患、骨関節疾患、呼吸器・循環器疾患などの病態を理解するとともに、各検査・測定の基本的な実施方法、手順を学び、的確に実施できる技術を身につけます。



地域リハビリテーション論

OT

地域リハビリテーションを理解するうえで必要なノーマライゼーションや制度、社会資源、多職種役割や、地域における社会生活支援について学びます。そして地域で生活する障害者の生活を支え、地域包括ケアに貢献できる作業療法士として必要な知識、技能の理解を深めます。



身体機能作業療法評価学実習

OT

身体機能の障害により作業遂行に支障をきたした対象者に適切な評価が行えるよう、評価の基礎を学びます。また、画像情報からの障害予測や検査測定のための基本的な実施方法、手順の理論的根拠を学び、実習を通じた確に行えるよう技術を身につけます。



臨床実習

臨床実習は技術の修得に加え、対象者やその家族、施設スタッフとの関わりの中でコミュニケーション能力を養い、信頼関係を築くことができる豊かな人間性を培う貴重な学修となります。実習中は教員が実習先へ訪問し、定期的な状況確認を行うことで学生の悩みや不安、課題に迅速に対応します。臨床実習終了後は、学内で事例報告や実習の振り返りを行い、臨床実習で経験した内容の理解をより深めていきます。

1年次	2年次	3年次		
臨床実習Ⅰ 体験実習 チーム医療の実際や対象者の様子を観察し、リハビリテーション専門職の役割を学びます。また、理学療法士、作業療法士を目指した動機の見直しや、社会人・医療人としての自覚を持つことを目的とします。 実習期間 PT 1週間 OT 2週間	臨床実習Ⅱ 評価実習 臨床の現場に参加しながら、臨床施設の把握や多職種との関わりを通じて、技術を向上させることが目的です。対象者の全体像の把握や、初歩的治療を経験し、安全性や対象者の状態の変化を考慮した基本的対応ができるようになることを目指します。 実習期間 PT 4週間 OT 6週間	臨床実習Ⅲ 総合実習 臨床実習指導者のもと、対象者への評価から治療プログラムの立案、効果判定までの臨床過程を経験します。臨床参加によって理学療法、作業療法を実施するうえで、基本的な臨床思考過程や治療技術を学びます。 実習期間 PT OT 7週間	臨床実習Ⅳ 総合実習 臨床参加によって総合的にリハビリテーションに関わっていきます。対象者に一連の理学療法、作業療法を提供しながら、チーム医療を経験し、基本的な理学療法、作業療法や問題解決能力及び方法を修得します。 実習期間 PT OT 7週間	地域理学療法・作業療法実習 実習のまとめとして、地域リハビリテーションに関わっていきます。通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションにて、地域包括的ケアシステムの中で、理学療法士、作業療法士に求められる役割やマネジメント等の理解を深めます。 実習期間 PT OT 1週間

実習対策 — OSCE (客観的臨床能力試験) —

臨床実習前に基本的な知識・技術の確認をし、学生の実践力を養うために行われる実技試験です。

FOCUS 01

対象者への治療技術の修得だけでなく、**コミュニケーション能力、対象者の心理面のサポート力、マナーなどの臨床現場で必要とされるスキル**を養います。



FOCUS 02

試験実施後、身につけた**技能や改善すべき課題の解決方法**について、教員が細かに**フィードバック**しながら理解を深めます。



実習スケジュール

※2021年度の内容です — PT — OT

臨床実習科目	学年	前期							後期					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
臨床実習Ⅰ (体験実習)	1年													
臨床実習Ⅱ (評価実習)	2年													
臨床実習Ⅲ (総合実習)	3年													
臨床実習Ⅳ (総合実習)														
地域理学療法・作業療法実習														

※上記期間内で実施しています。